

令和4年度第2回狭山市男女共同参画審議会 議事録

開催日時：令和5年1月23日（月）午後6時00分～7時35分

開催場所：狭山市役所6階 604会議室

出席委員：齋藤委員、千葉委員、辻委員、菅野委員、木村委員、小島委員、中里委員、町田委員

欠席委員：松本委員、村田委員

傍聴者：0人

事務局：濱田市民部次長兼市民相談課長、
杉山男女共同参画センター所長、桜井同主査

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題

- (1) 令和4年度男女共同参画センター情報コーナーのDVD購入について
(事務局より資料1について説明)

〈質疑応答・意見〉

委員 男女共同参画情報コーナーの利用者の年齢層は幅広いのか。DVDを選ぶ基準として対象としたい年齢層があるのか、今ある在庫とかぶらないようにするのか、などを知りたい。

事務局 情報コーナーは、学生から高齢の方まで幅広い年代の方の利用がある。現在、所蔵するDVDの内容も、研修資料として利用できるDVやハラスメント防止に関する作品や女性の活躍を題材とした作品など様々である。男女共同参画の視点の作品であることを基準に選んでいる。

委員 候補作品一覧表の中には、テレビなどでも放映されている作品もある。個人的には、他にも観たことのある作品もあり、できれば他ではあまり観られていない作品や、新しい作品の方が良いと思う。

委員 この後に、令和5年度のセンターの事業についての議題もあるが、次年度のセンターの事業に活用できるもの、必要なものという視点で、事務局から選んで提案してもらうのも良いと思う。

事務局 では、第5次プランの理念の冒頭にもある人権の尊重という視点や、多様性への理解を幅広く市民へ伝えるため、資料1の表の4番「タレントイム 優しい歌」の購入を提案したいと思いますがいかがでしょうか。

委員 (委員一同) 意義なし

- (2) 令和5年度男女共同参画センター事業について
(事務局より資料2について説明)

〈質疑応答・意見〉

- 委員 ひこうせんの色は、今回も前と同じか。前号は文字が小さく読みづらかったが、今回の原稿を見るとだいぶ見やすくなったと感じる。来年度からは広報と一緒に全戸配布になるようだが、可能な限り目に付くような形で発行してもらいたい。施策を掲げてもやらないと意味がないが、地道だけれども、ちゃんとやっているのもっとそれを知らせるために、ひこうせんの紙面を工夫し、活用してもらいたい。
- 事務局 今回のひこうせんも前号と同様1色刷り、シアン（青色）での作成になる。今年度は事業の実施が年末以降が多く、参加者の感想や写真については掲載できなかったが、来年度は早めの事業実施などにより、実施した事業の感想や写真など内容も載せていきたい。
- 委員 人権と男女共同参画とは大きく結び付いている。市役所職員の意識づけも大事なので、希望者だけが研修を受講するだけでなく、例えば「入職3年目の職員は必ずこの研修を受ける」などの積極的な意識改革も必要。女性のリーダーシップも、市役所でも女性の課長が増えている事実もあり結果として現れている。男も女も関係ないのが当たり前ということが大事。方向性は良い方にいっていると思う。
- 委員 共働きも増え、夫婦同士も子どもとも、じっくり話せる時間が取りづらくなっていると思う。特に性のことなどは、じっくり向き合って話せないと話せない。市の事業でそういう部分をサポートしてもらうのは有難い。周りで助けてあげられることを模索して行けると良いと思う。
- 委員 今年も出前講座を行っているが、企業からも出前講座の申し込みはあるのか。福祉の方でも（所沢市の）社会福祉協議会などで出前講座をやっているが、企業などではコロナ禍になってからは出前講座の申し出よりも、ビデオで15分程度の研修教材で受講する形が多い。長時間の対面講座より、15分程度の短時間なら休憩時間や、変則勤務の人でも対応しやすい利点があり、受講するとポイントがつくなども行っている企業もある。
- 事務局 学校や地域の団体からの依頼はあるが、確かに企業からの出前講座の申し出は今までない。企業などの大人の学びも必要だが、みんな時間が無い中で、委員から良い事例のアイデアをいただいたので、ぜひ取り入れていきたい。
- 委員 男女共同参画と子育て支援からすると、産後ケアの活用についても子育て支援につながっていくと思うので、周知していけると良いと思う。
- 事務局 昨年、日本経済新聞社が行った調査「共働きで子育てしやすい町」ランキングで、埼玉県内では狭山市が第1位との発表があった。その評価の大きな理由の1つは「産後ケアの支援が充実している」との事だったと聞いている。子ども支援課や保健センターなどでも産後ケアについて周知しているが、より多くの市民が知る機会を与えるために男女共同参画の方面からも周知してつなげていきたい。

委員 子育て広場や訪問型指導員、ちゃっぼの情報紙作りなどに携わっているが、子育て支援につなげる点からするとヤングケアラーも入れてもらいたい。

事務局 ヤングケアラーについては、子ども支援課や教育委員会などでも協議しているが、学齢期以外の年齢をどう把握するかなど難しいことも多いと聞いている。

委員 2月12日（日）開催される狭山市社会福祉大会では、^{おおぞらこうき}大空幸星氏によるヤングケアラーについての講演会がある。また、入曽地域交流センターでは子育てたち（市民団体）が月2回ほど、子育てのお母さんの悩み相談を行っており、相談の間はたちの会員が子どもの面倒をみるなどで実施している。こうした取り組みや、民生委員や自治会連合会なども活用して、漏れのない支援がしていけると良いと思う。

(3) その他
(事務局より講演会チラシについて説明)

特に意見なし

以上

4 閉会